



足羽小学校

学校だより

No.8

令和2年12月25日(金)

TEL (0776) 35-3804

FAX (0776) 35-0654

<http://www.fukui-city.ed.jp/asuwa-e/>

本日で、令和2年の授業も最終日。明日から1月4日(月)までの10日間、短いですが子どもたちが待ちに待った冬休みです。天気予報によると福井地方は大雪の可能性が高いとのこと。コロナの心配もあり、あまり出歩かず、ご家族とのんびり年末年始を堪能してほしいと思っています。また、1月5日(火)の授業スタート日は、大雪の影響で通学路の安全確保や学校の授業もどうなるのか不透明なところがあります。積雪の具合により登校の際には、班によって事前に確認した安全なルートに変更するなどして、慎重に通学してください。また、緊急メール等で連絡を入れることもありますので、各ご家庭で確認もお願いいたします。



今回の学校だよりは、12月分の主な行事と11月までの行事でこれまでお伝え仕切れなかったことを中心に報告させていただきます。

外部講師による本格的陶芸挑戦 6年12/1・4年12/2

元和田小学校長で、市内の中学校の美術の先生として、活躍された小嵐龍夫先生を講師にお迎えし、4、6年生が越前焼きの粘土を使って本格的な陶芸作品に挑戦しました。



4年生は「立ち上がり！ねん土」というテーマで、上に立ち上げる作品に挑戦。手びねりなどの技法をお習いしながら、思い思いの作品を作りました。



6年生は、釉薬の代わりに色とりどりのガラスの破片を入れ「水の流れのように」というテーマで、流れ落ちる水の動きを表現する作品を作りました。結構凝った作りをする人もいて、小嵐先生からは、「なかなか素晴らしい。県美展に出せるかも。」とお褒めの言葉もいただきました。

1月から県教育研究所の窯で本焼きします。どんな仕上がりとなるのか、楽しみです。

町探検発表会 1年・2年 10月22日(木)



前回のおたよりで報告させていただいたように10月6日に2年生は足羽地区のお店や神社・お寺などを訪問し、足羽の町を深く知る学習をしました。その結果をグループごとにまとめ、10月22日(木)に1年生に向け発表をしました。2年生にとっては、自分たちが調べたことをまとめ、後輩に向け発表することは、2年生としてのプライドと自信をもって自分の考えを披露する大事な経験となります。また、足羽の地区のことをより深く知るための大切なステップでもあります。



1年生にとっては、来年度の自分たちの学習に希望と見通しをもつとともに、2年生に対し、尊敬の念と憧れの思いをもつ良い機会になります。そして、6年生まで続く足羽地区の学習の最初のステップ、始まりでもあります。



和楽器体験 5年 12月17日(木)



5年生は、お琴と尺八の専門家のみなさんを講師にお招きし、和楽器体験の授業をしました。尺八はコロナ対策のため、実際に演奏はできませんでしたが、尺八に触れたり生の演奏をお聴きしたりできました。お琴は、初めて触れた児童がほとんどでしたが、丁寧に譜面の読み方や演奏方法を教えていただき、時間が終わる頃には全員が「さくらさくら」を演奏するまでに上達。あまりの上達ぶり



に見学していた校長もびっくりでした。将来お琴の演奏家がこの中から出るかもしれませんね。

恐竜博物館見学 3年 11月13日(金)



なかなか各学年とも校外学習に出かけられない中、3年生は11月13日(金)に福井が世界に誇る恐竜博物館に出かけました。迫力満点のリアルな動く模型や骨格標本にみんな「うわーっ」と感動の声。一方で、学習として学んだこと感じたことも、しっかりワークシートにメモ



をしていました。天候にも恵まれ、屋外の芝生でお弁当を食べ、遊んだりしました。コロナ禍の日常の中、児童は授業の一環ながら、心も体もリフレッシュできた一日だったのではないのでしょうか？

授業参観「親子でゲーム・スマホ・SNSを考える」

11/4(水)



今年度の第2回授業参観は、いつもとは形を変え、「親子でゲーム・スマホ・SNSを考える」というテーマで、低学年、中学年、高学年の3部に分け、それぞれ講演を聴いて、親子で話し合いをするという内容にしました。というのも、元々本校の児童は、市内の小学校の中でもゲームやスマホを1日のうちやっている時間が群を抜いて高く、その上、このコロナの影響でますます状態が悪くなったというアンケート結果もあって、危機感を感じていたからです。

低学年は、校長から「1時間以上スマホやゲームをすると脳の発達に悪影響を与え、集中力がなくなったり、イライラしたり、暴力的になったりする傾向が強まること。反面、おうちの人と日常的にスキンシップを増やしたり、目を合わせて楽しいひとときを過ごしたりすると、脳の状態が良くなること」を話しました。

中学年・高学年は、市青少年センターの竹野泰弘カウンセラーから講演をいただき、「本校の児童はやはりゲームやスマホの使用時間が長いこと。ゲーム依存症の怖さ。そして、中学年はSNSで見知らぬ人と会うことの危険性など。高学年はSNSでのコミュニケーションの便利さと限界を知り、ちゃんと実際に顔を合わせ、相手の感情や想いを考えながら関わることの大切さ」などを楽しく丁寧に教えていただきました。



その後、親子で家でのルールをどうするか、どうゲームやスマホ・SNSと付き合っていくか話し合っていました。

<編集後記>

心配されたコロナの影響も何とか最小限に留まり、現在、学習の進度も遅れなく、無事年末を迎えることができ、ほっとしております。皆様、また来年もよろしくお願ひいたします。良いお年を！

切り取り線

<ご意見欄>